

京都教区時報

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

5頁 共同宣教司牧推進のための具体的提案

6頁～10頁 2002年のスケジュール

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601



1 新しい活力(ダイナミズム)

新年明けましておめでとうございます。

キリスト降誕二千年の大聖年を越えて、人類にとっても教会にとって第三番目の千年期が始まり、その二年目の年が始まります。二〇〇一年は、五十七の小教区すべてが共同宣教司牧チームになり、京都教区にとって「共同宣教司牧元年」とも言える節目の年でした。今年は、さらに共同宣教司牧を推進する大切な一年です。

二〇〇一年の年頭書簡で私は、共同宣教司牧のための動機づけとその目的、精神と靈性といったことを説明しました。それを受けて、さまざまに共同宣教司牧の取り組みを続けながら、「福音宣教するため信徒一人ひとりが、「福音とは何か」「宣教とは何か」「教会とは何か」という問い合わせに、一

「沖に漕ぎ出しなさい」 (Duc in altum)

京都司教 パウロ大塚喜直

2 沖へ—挑戦

人ひとりが考えて答え、そして共同体としてそれらの共通の認識をもつために分かち合うことが必要となります。

とり、この話し合いが教区協議会でも昨年から続いています。

さて、昨年教皇ヨハネ・パウロ二世は二〇〇〇年の大聖年を終え、使徒的書簡『新千年期の初め』を出し、希望をもってこの新しい時代に踏み出すように呼びかけられました(以下*で引用)。

特にイエスの「沖に漕ぎ出しなさい」というみことば(ルカ5・4)

を用いて(*1)、教会が新しい

活力(ダイナミズム)をもって、

効果的な宣教、司牧計画に着手するよう促されました(*15)。

そこで私はこの教皇様の呼びか

けを受けて、あらためて「沖に漕

ぎ出しなさい」というみことばの

中に、目下、共同宣教司牧に取り

組んでいる私たち京都教区民への

力強いキリストの励ましを見出し

たいと思います。

1
2002



り、イエスはペトロに「舟をもつと岸から離して遠く沖へ出しなさい」と命じながら、単に場所の移動を命じたのではなく、人間の既得の体験と憶測をはるかに越えた神の支配する領域、神秘の世界、救いの出来事の世界へと向かっていくことを命じられたのです。

私は、このイエス様の命令のなかに、私たちが福音宣教へと派遣されるときの、神が指示す深い神祕の中へと勇気をもつて飛び込んでいくようにという招き、いやむしろ挑戦にも似た強い促しを感じます。共同宣教司牧には、モデルがありません。そこには試行錯誤の試練が待っています。しかし、神は確かに、私たちが恐れずに立ち向かう勇気を奮い起す信仰の従順を求めておられます。

り、イエスはペトロに「舟をもつと岸から離して遠く沖へ出しなさい」と命じながら、単に場所の移動を命じたのではなく、人間の既得の体験と憶測をはるかに越えた神の支配する領域、神秘の世界、救いの出来事の世界へと向かっていくことを命じられたのです。

私は、このイエス様の命令のなかに、私たちが福音宣教へと派遣

3 沖へ——無条件の信頼

徹夜で漁をしても漁獲がなく、むなしく漁網を洗っていた漁師の中で、シモンがイエスの頼みを聞きります。ペトロには漁師としての長年の経験から、イエスのことばを断る理由があります。しかしペトロは「おことばですから、網を降ろしてみましょう」と答え、心からの無条件の態度で従います。みことばを聞いていた群衆や漁師の全員がイエスに従ったわけではありません。どうして、全面的にペトロはイエスに従うことができたのでしょうか。それは理屈ではありません。ペトロは、イエスに「選ばれた」のです。ペトロはわざわざ自分の舟を選んでくださったイエスに心を開き、理屈を越えた無条件の信頼で、この選びに応えたのです。

広く共同宣教司牧という教会の世界的な新しい動きは、カトリック教会の長い歴史の中で、今の時代の教会に神から託された課題です。なぜか少数派の日本の教会が、選ばれたのです。私たちが将来の教会に対する責任を果たすこの挑戦は、損益であり、恵みであり、父なる神の救いの業への参与なのです。

共同宣教司牧の取り組みに対して、「なぜ、しなければならないのか?」「共同宣教司牧には反対である」という意見や声があります。確かに共同宣教司牧は、信徒にも司祭にも、今までと違うことが始まります。今までと違う負担が起こります。しかし、そのようなマイナスの面を避けようとして、

今ままの教会で何も始めなければ、今のような教会は早晚私たちの世代で終わるでしょう。

でも教皇は言われます。「み国のために、後ろを振り返つたり怠惰に流れる暇はありません。多くのことがわたしたちを待ち受け

ます」(*15)。

京都教区の皆さん、私たちの教

4 沖へ——未来の展望と飛躍

教皇様は、大聖年を「第一バチカン公会議から三十五年を経た教会が、新たな飛躍のうちに福音宣教の使命遂行のための刷新を自らに問い合わせるようにと招かれる機会的な時」とされました(*2)。そして、その上で、未来に展望を持つことはキリスト者の務めであり、大聖年で受けた恵みを「新しい決意や具体的な今後の活動方針に活かす」ことが必要であると言われます(*3)。

共同宣教司牧の取り組みに対して、「なぜ、しなければならないのか?」「共同宣教司牧には反対である」という意見や声があります。確かに共同宣教司牧は、信徒にも司祭にも、今までと違うことが始まります。今までと違う負担が起こります。しかし、そのようなマイナスの面を避けようとして、

日本ではバブル崩壊後の沈滞閉塞状況の中でも、多くの人々が脅かされる生計の努力と不安のなかで自分を失い、疲れ、人間らしさを失いかけています。若者たちは自分自身のプライドと自らの生きる目標を持てずにいらだっています。私たちを取り巻く現代社会の諸問題を見渡すとき、世界のすべての

会の停滞と宣教の行き詰まりという現実を素直に見つめ、そこに新たな方法で福音宣教に携わるべき「時のしるし」を積極的に見出しに乗り出していくましょう。

京都教区の皆さん、私たちの教

キリストは唯一の創造主である神を信じる私たちを、希望の福音を必要としている現代世界の現実という「沖」に立ち向かわせます。科学と技術の著しい進歩と経済発展を遂げた二十世紀を終えた人類は、またそれを享受する人々と犠牲になる人々の格差をそのままにしてしまって、その歩みを第三番目のミレニアムに踏み出しました。グローバル化していく人類が果たしてしまわせな地球になっていくかといえば、残念ながらそう樂観できません。

5 沖へ——現代福音宣教の新しいニーズ

日本ではバブル崩壊後の沈滞閉塞状況の中でも、多くの人々が脅かされる生計の努力と不安のなかで自分を失い、疲れ、人間らしさを失いかけています。若者たちは自分自身のプライドと自らの生きる目標を持てずにいらだっています。私たちを取り巻く現代社会の諸問題を見渡すとき、世界のすべての

人々が「平和に人間らしく生きる」ということが、いまほど切実に求められる時代もありません。しかし一方で聖霊の照らしを受けた識別によって、身近なところに福音的な小さな芽生えを見つけることもできます。

そんな中で、カトリック教会は「貧しい人に福音を宣べ伝える」(ルカ4・18)よう、父である神からキリストを通して呼びかけられています。教区ビジョン(一九八一年)は、信仰を生活の中での探求し、そして社会の「弱い立場」の人々との関わる中で、「社会のそれぞの場で働いておられるキリストを見出していく」と宣言しています。私たちが共同宣教司牧を推進するとき、教会内部の意識や組織改革が、教区ビジョンのとおり、教会から私たちが社会に出かけてゆき、教会が「社会と共に歩む教会」になっていくために行われなければなりません。

6 沖へ——観想と祈りへ

共同宣教司牧は、神の助けによつて進める試みです。ですから観想と祈りに深く根を下ろすことは、基本的なことで最も大切です。現代は、ひたすら「行動のための行動」に走る危険をはらみ、時には

いら立たしくなるほど目まぐるしく変動する時代です。このような誘惑には抵抗しなければなりません。「おこなう」以前に「ある」つまり行動に先立ち存在の意味を探るべきです(*15)。

共同宣教司牧の推進は、単に古

いことを止めて新しいことを始める表面的な変革ではありません。信徒一人ひとりが、そして共同体

全体が、いつも自分たちの信仰がキリストにしっかりとつながっているように、謙虚に行う回心のプロセスの上に行われます。したがって、沖へ漕ぎ出す前にキリストのことばに耳を傾けていた人々と同様、イエスのみ顔を常に聖書のみことばを通して観想する必要があります(*16~28)。「沈黙と祈りの体験だけが、イエスのみ顔を観想するための真の知識、正確な知識、一貫した知識を深め、成長させるためにふさわしい視野を開いてくれるのです」(*20)。

7 むすび 「共に網を降ろし、漁をしなさい」

イエスは、ペトロに「魚をとるために、あなたがたが網を降ろしなさい」といわれます(ルカ5・4)。網を降ろすように命じられるのはペトロだけではありません。

また、網をおろして魚が網一杯に

ましよう。

ペトロは他の舟の「仲間たち」に合図して助けてもらいます。この事です。キリストとの出会いは個人的な面がありながら同時に必ず

共同体的な面があります。

共同宣教司牧の根本精神は「交わり」です。神は福音宣教を行うために、教会という群れに一人ひとりを呼び寄せながら、少数であつても常に複数で遣わされます。共

同宣教司牧の共同性は、福音宣教の本質的な特徴なのです。

京都教区における具体的な福音宣教の実践は、教区民の一人ひとりの参加と協力なしには、十分に行なうことができません。教会内のさまざまなレベルの対話の促進、開かれた共同体作りへの努力、典礼の工夫、祈りと秘跡の信仰生活

今年の教会の主な祝祭日

一一〇〇二年元旦

では、勇気をもって恐れずに、失敗も痛みも分かち合いながら、しかし、喜んでキリストに従う信仰の従順をもって、共に教区の舟を「沖へ漕ぎ出して」いきましょう!

みながひとつになるように

牧推進チーム」を結成します。どうか、教区民全員で、この教会の歩みに心を開き、そのために共に祈ってください。そして神の母であるマリアさまを通して、この一年の教区の努力を神様にお捧げし

日本二十六聖人2月5日(火)
灰の水曜日 2月13日(水)
復活の主日 3月31日(日)
主の昇天 5月12日(日)
聖靈降臨の主日 5月19日(日)
キリストの聖体

は、すべての信徒間の交わりを基盤にして行われます。

今年3月に、私は「共同宣教司

牧推進チーム」を結成します。どうか、教区民全員で、この教会の歩みに心を開き、そのために共に祈ってください。そして神の母であるマリアさまを通して、この一年の教区の努力を神様にお捧げし

無原罪の聖マリア

11月24日(日)

聖パウロ 6月2日(日)
聖母の被昇天 6月29日(土)
8月15日(木)

12月9日(月)
12月25日(水)

主の降誕

十一月二十三日（司教座聖堂記念日）ミサ

京都教区ビジョン

「社会と共に歩む教会」発表二十周年

京都司教 パウロ 大塚 喜直

1 教会が社会の隣人になる

イエスは、今日の福音の「よき

サマリヤ人のたとえ」を話し終え

て、律法の専門家に「さて、あな

たは、この三人のうち、誰が、強

盗に襲われた人に対して、隣人と

して振舞ったか」と尋ねられまし

た。今日、教区ビジョン「社会と

共に歩む教会」二十周年を記念し、

その宣言を再確認する意味で、ま

さにこのイエスさまの質問は、私

たちに京都教区民に投げかけられ

ていると言えます。宣教ビジョン

「社会と共に歩む教会」の精神を、

私たち本当に生きているかどうか

か、今私たちが問われているので

す。

このよきサマリヤ人のたとえの

意味は、イエスの説く隣人愛の大

切な視点を教えています。隣人愛

とは、「私の隣人」を「待つ」の

ではなく、自分の方から出かけて

「私が隣人に成る」ことによって

実現する人間的なかかわりを指し

ます。自分中心的発想の愛の切り

売りではなく、他者、すなわち相

手中心のかかわりを私から生み出

す積極的、具体的な行動なのです。

愛の対象として「私の隣人とはだ

れか」と自分中心に考えている間

は、けっしてイエスのいう隣人愛

は始まらないのです。

イエスの宣教の第一歩となつた

ナザレでの説教は、預言者イザヤ

のことばをつづり合わせて、イエ

スの全活動をパノラマ的に表して

います。イザヤの61・1でこうい

われています。「主はわたしに油

を注ぎ、主なる神の靈がわたしを

とらえた。わたしを遣わして貧し

い人に良い知らせを伝えさせるた

めに。打ち砕かれた心を包み、捕

らわれ人には自由を、つながれて

いる人には解放を告知させるため

に」。

キリストは、ただ「福音を告げ

るために」とは仰せになりません

でした。はっきりとその相手を名

指して、「貧しい人々に」と言わ

れました（ルカ4・18）。

教区ビジョンで私たちも、キリ

ストに傲い、最優先に「社会の中

の貧しい人々、小さな人々」の存

在に福音の目を開き、その現実を

学び、彼らと交わり、連帯してい

くことを決意しました。

そして、そのような宣教を実行

したがって、ビジョンは、この視

点にたって、教区民全体の意識と

その活動、そして教会組織そのも

のを見直し刷新していくことを誓

いました。

3 共同宣教司牧の推進との関係

そこで、今、ビジョンと共同宣

教司牧との関係です。なんと言つ

ても、京都教区目下の最大の課題

は、共同宣教司牧の推進です。そ

のために私は、年頭書簡で、共同

宣教司牧の基本的目的と精神を

書きました。つまり共同宣教司牧

は、「福音宣教していく教会共同

体」に成長していくために行つて

いるのです。

教区ビジョンでは、宣教理念と

それに即応した教会となるべき刷

新を謳いましたが、同様に共同宣

教司牧の課題には、「福音宣教す

る」という教区民の共通認識と、

そのための具体的な実践を可能に

するような教会の自己刷新運動が

あります。したがって、今日教区

ビジョンの二十周年を記念する

いうことは、「福音宣教する共同体になる」という共同宣教司牧の目的を教区内の共通認識として確認し、それを新しい信徒や次世代の信徒に伝え、また常に新しい時代の要請に応じて、「福音宣教する共同体」の理解を深めていく運動を続けることを意味します。そのための具体的な取り組みを、私から、ミサの最期に皆さんに発表いたします。

共同宣教司牧を推進するための具体的な提案(ミサの最後の発表)

京都司教 パウロ 大塚喜直

一、共同宣教司牧推進チームの設置

任期二〇〇二年四月～

二〇〇五年三月。メンバーは司教、司祭二名、五地区から各三名。状況の把握、評価、情報提供、学習会などの企画を行う。

二、本年度中に教区内全十四の共同宣教司牧チームを司教が司牧訪問する。

三、教区主催の学習会、研修会を始める。

その一方で、物質主義、功利主義、経済優先主義が蔓延し、本来「希望」をもたらすべき宗教団体

4 希望の福音を告げる

さて、この十月にバチカンで行われた第十回シノドス(世界司教代表者会議)に私は日本代表として出席しましたが、そのテーマは「世に希望を告げるイエス・キリストの福音に仕える司教」というものでした。まさしく現代日本の社会的雰囲気は「希望の福音」を待望しています。

確かに、日本の伝統の宗教や文化や思想の中に、日本人の精神構造の中に、創造主である神の息吹、すなわち聖霊の働きを見ることができます。しかし、昨今の現実社会には、従来見られなかった精神や価値観の変動が起こっています。小中学校の荒廃、非行の低年齢化、性道徳の退廃、中年家庭の危機、家庭崩壊、職場の行き詰まり感等、多様な新しい問題が次々に起きています。さらに、個々の問題が解決されるまえに新しい問題が起こり、めまぐるしく変化する中で、日本人の心は蝕まれています。そのような社会の中で人々は、心を癒し生きる活力を与えてくれる何かを待望しているのです。

この混沌として現代社会にあって、私たちキリスト者には、福音をこの世に、真の希望として証する責任があります。特に、九月十日のアメリカでのテロ事件で、世界平和も国際社会の発展も、もうろくも脅かされてしまつた今日、一層、希望のしとなる使命が逼迫した形で私たちに迫ってきております。

しかし、キリストが示す希望は、ただ問題解決のためのこの世的な希望主義とは異なります。それは、

に対する人々の期待感は極めて低く、むしろ一部のカルト集団の活動が、日本人の宗教一般への不信感を強めているとも言えます。しかも「希望の福音」を述べ伝えるべき日本の教会自身が、大きな転換期を迎えているのです。年頭書簡でも書きましたように、日本教会は、第二次世界大戦後に訪れた多数の修道会・宣教会によって飛躍的に成長拡大しましたが、現在、その聖職者・修道者たちの高齢化、司祭数の減少が著しく、未来を担うべき青少年の教会離れなど、教勢が停滞しているのが現状です。しかし、だからこそ、共同宣教司牧の試みが、どうしても必要なのです。

この混沌として現代社会にあって、私たちキリスト者には、福音をこの世に、真の希望として証する責任があります。特に、九月十日のアメリカでのテロ事件で、世界平和も国際社会の発展も、もうろくも脅かされてしまつた今日、一層、希望のしとなる使命が逼迫した形で私たちに迫ってきております。

しかし、キリストが示す希望は、ただ問題解決のためのこの世的な希望主義とは異なります。それは、

基づく希望です。したがって、証には、痛みと犠牲が伴います。これを忘れてはなりません。

5 「あなたも行って、同じようになさい」

最後に、今日は、教区昇格五十周年、いわば正式の教区創立記念を築き、今日の教区共同体にまで、導いてくださった父である神に感謝し、教区の先人、恩人に感謝の祈りをささげましょう。私たちは父なる神の呼びかけに従い、いただいた信仰を感謝の念を持って受けとめます。そして神の子としてふさわしく生きるように回心を重ね、己を捨て、聖霊の照らしに心を開いて、自分の十字架を担ぎ、父である神への巡礼の道を歩みづけます。イエスは律法の専門家に言されました。「では、あなたも行って、同じようになさい」と。人類が新しい千年紀(ミレニアム)に踏み出した今こそ、「教会と共に歩む」教会として、このことばに忠実に答える決意を、神様の助けによって新たにいたしましょう。

		共同宣教司牧 司教訪問 ミサと集会	司祭評議会15時	会14時	14時
		青少年委員会18時	教区協議会書記局会議	18時	18時
		5月	6月	7月	8月
30日(木)司祭全体集会10時半	27日(月)~28日(火)青少年委員会研修会	5日(日)右近こども祭 7日(火)メリノール会総会ミサ (唐崎ハウス) 16時45分	2日(日)奈良ファミリーデーミサ 4日(火)教区幼稚園連盟園長会 10時半	29日(土)教区カトリック協議会 4日(木)中央協常任司教委員会 10時	27日(木)司教顧問会・責任役員会 29日(土)教区カトリック協議会 14時
25日(火)教区カトリック学校連絡	10時半	8日(水)中央協機構改革委員会 15時	5日(水)東京カトリック神学院養成担当者会議9時 中央協機構改革委員会 15時	30日(日)京都南部地区・西ブロック共同宣教司牧 司教訪問ミサと集会 青少年委員会18時 10時	1日(木)WYD(世界青年大会) 2002トロント大会 4日(日)比叡山平和の祈り15時 5日(月)~7日(水)教区中学生広島巡礼(広島平和ミサ) 11日(日)教区一斉平和祈願ミサ 平和祈願ミサ(河原町) 15時
26日(日)安土セミナリオ滋賀堅信 ミサ	14時	11日(土)聖母の小さな学校訪問 (舞鶴) 14時	東京カトリック神学院常任司教委員会16時	4日(木)中央協常任司教委員会 10時	19日(金)~8月1日(木)WYD (世界青年大会)2002トロント大会
27日(月)~28日(火)青少年委員会研修会	14時	12日(日)細川ガラシヤ顕彰ミサ (味土野) 10時	9日(日)三重地区・南勢ブロック共同宣教司牧 司教訪問ミサと集会 青少年委員会18時 10時	7日(日)三重地区・北勢ブロック共同宣教司牧 司教訪問ミサと集会 青少年委員会18時 10時	4日(日)比叡山平和の祈り15時 5日(月)~7日(水)教区中学生広島巡礼(広島平和ミサ) 11日(日)教区一斉平和祈願ミサ 平和祈願ミサ(河原町) 15時
30日(木)司祭全体集会10時半	14時	14日(火)カリタス会理事会14時 15日(水)京都・京都南学法理事会 16時	10日(月)~12日(水)司祭・修道士研修会(唐崎メリノールハウス) 15日(土)聖母保育園創立40周年記念ミサ、講演(西院教会)	9日(火)大阪京都合同顧問会15時 10日(水)聖書講座19時半 11日(木)聖書講座10時	19日(金)~8月1日(木)WYD (世界青年大会)2002トロント大会
25日(火)教区カトリック学校連絡	10時	21日(火)滋賀学法理事会14時 22日(木)司教顧問会・責任役員会 10時	12日(金)大阪教会管区教区代表者会議11時 13日(土)福音センターケルヒー講座 14時	4日(水)中央協機構改革委員会 15時	14時
26日(日)安土セミナリオ滋賀堅信 ミサ	14時	19日(日)聖霊降臨 河原町堅信ミサ 10時半	10日(水)聖書講座19時半 11日(木)聖書講座10時	5日(木)中央協常任司教委員会 10時	19日(金)~8月1日(木)WYD (世界青年大会)2002トロント大会
27日(月)~28日(火)青少年委員会研修会	14時	21日(火)滋賀学法理事会14時 22日(木)司教顧問会・責任役員会 10時	12日(金)大阪教会管区教区代表者会議11時 13日(土)福音センターケルヒー講座 14時	8日(木)安曇川教会創立50周年記念ミサ 14時	14時
30日(木)司祭全体集会10時半	14時	23日(木)司教顧問会・責任役員会 10時	15日(日)京都南部地区・南ブロック ク伏見桃山八幡共同宣教司牧 司教訪問ミサと集会 会	15日(日)京都南部地区・南ブロック ク伏見桃山八幡共同宣教司牧 司教訪問ミサと集会 会	14時

26日(木)司教顧問会・責任役員会	22日(火)～29日(火)教区司祭 年記念ミサ
10時 司祭評議会常任委員会	の黙想(当別トラピスト修道院)
14時 ク共同宣教司牧 司教訪問ミサと集会	青少年委員会18時
29日(日)京都南部地区・東ブロック共同宣教司牧 司教訪問	29日(日)衣笠墓地墓参
10月	3日(日)衣笠墓地墓参
2日(水)中央協機構改革委員会	6日(水)中央協機構改革委員会
15時 中央協常任司教委員会	15時 中央協常任司教委員会
3日(木)中央協常任司教委員会	7日(木)中央協常任司教委員会
10時 中央協常任司教委員会	10時 中央協常任司教委員会
6日(日)～7日(月)大阪管区事務局長会議(高松)	10日(日)滋賀地区・湖西ブロック共同宣教司牧 司教訪問ミサと集会
12日(土)ノートルダ女学院創立50周年記念ミサ10時	12日(火)～14日(木)日韓司教交流会(韓国)
13日(日)京都北部地区・宮津ブロック共同宣教司牧 司教訪問ミサと集会	16日(土)精華聖マリア幼稚園創立50周年
15日(火)教区協議会書記局会議 18時	17日(日)三重地区・中勢ブロック共同宣教司牧 司教訪問ミサと集会
17日(木)司教顧問会・責任役員会 10時	19日(火)大阪合同顧問会・責任役員会 10時
19日(土)教区協議会14時	21日(木)司教顧問会・責任役員会 10時
20日(日)京都南部地区・南ブロック共同宣教司牧 司教訪問ミサと集会	19日(木)司教顧問会・責任役員会 10時
24日(日)洛星中高等学校創立50周年記念(鈴鹿) 18時	24日(月)河原町市民クリスマス19時半
23日(土)司教座聖堂献堂35周年記念ミサ 16時半	25日(火)主の降誕ミサ(河原町) 19時半
24日(日)ラテンアメリカ共同体堅信(鈴鹿) 18時半	主の降誕深夜ミサ 23時

教区内の活動予定

福音センターの行事

電話 075 (822) 6246
◆年間行事▼黙想会 1月27日 (日)
▼世界青年の日のカテキズム集会 3月24日 (日) 河原町教会 ▼WYD D (世界青年大会) 2002トロント大会 7月21日 (日) ~ 8月1日 (木) ▼WYD報告会 9月28日 (土) ~ 29日 (日) 野外礼拝センター

地区の行事

- ◆集まり奇数月第三土曜日
◆信仰教育委員会▼侍者合宿3月
25日(月)～27日(水)▼春、秋
の青年默想会日時未定
- ◆聖書委員会▼聖書深読1月12日、
2月9日、3月9日、4月13日、
5月25日、6月15日、7月13日、
9月14日、10月5日、11月9日、
12月7日いずれも土曜日河原町会
館▼聖書講座シリーズ5月～10月
◆典礼委員会▼教会の祈りと聖体
贊美式 第一日曜日17時半河原町
教会、第三土曜日16時半衣笠カル
メル修道会
- ◆部落問題委員会・正義と平和京
都協議会▼部キ連行政責任者研修
会2月18日▼現地研修・静岡県袋
井市3月2日(土)～3日(日)
▼学習会4月20日▼狭山全国集会
5月23日▼部キ連総会5月27日▼
学習会7月13日▼合宿研修「ハン
セン病と部落問題」8月▼宗教と
差別シンポジウム「宗教の持つ排
外性と差別性」9月▼狭山全国集
会要請行動、「部キ連」連続講座
10月▼正義と平和全国集会11月

▼スポーツ大会10月20日(日)
◆集まり奇数月第三土曜日

◆滋賀カトリック協議会▼例会2
月24日(日)、4月、6月、9月、
11月▼安土セミナリヨ記念ミサ・
合同誓信式5月26日(日)▼典礼

◆安曇川教会▼献堂50周年記念ミ
サ9月8日(日)

入学式4月10日(水)▼創立記念
日5月1日(水)

◆ノートルダム女学院中学高等学
校▼高校卒業式2月27日▼中学卒
業式3月22日、以下は予定中・
高入学式4月9日▼体育祭9月20
日▼文化祭9月29日▼創立記念日

◆メリノール女学院中学・高等学
校▼創立記念日1月21日▼高校卒
業式3月1日▼中学修了式3月22
日▼入学式4月6日

◆洛星中高等学校▼高校卒業式2
月7日(木)▼中学卒業式3月23
日(土)▼中学高校入学式4月8
日(月)▼創立記念日10月21日

◆聖母学院短期大学▼卒業式3
月13日(水)

◆聖母女学院短期大学▼卒業式3
月13日(水)

◆海星中学・高等学校▼高校卒業
式3月1日▼中学修了式3月18日

◆暁星女子高等学校▼卒業式2月
28日(木)▼入学式4月9日(火)

◆創立記念日5月1日(水)

◆京都聖カタリナ女子高等学校▼
卒業証書授与式2月23日(土)

◆セントヨゼフ女子学園高等学校
中学校▼高校卒業式3月2日(土)

◆聖母学院中学・高等学校▼高校
卒業式2月15日

◆ノートルダム学院小学校▼ベルナデッタ
のお祝い2月18日(月)▼卒業式

3月16日(土)▼入学式4月10日
(水)▼運動会10月6日(日)▼

追悼式11月1日(金)

◆ノートルダム学院小学校▼卒業
式3月15日(金)▼入学式4月8
日(月)▼運動会5月18日(土)

◆聖家族幼稚園▼感謝祭2月5日
(火)

◆聖母教育文化センター▼巡礼の
旅(大阪周辺のキリストンシリ

◆教区委員会の行事

◆聖書委員会▼聖書深読1月12日、
2月9日、3月9日、4月13日、
5月25日、6月15日、7月13日、
9月14日、10月5日、11月9日、
12月7日いずれも土曜日河原町会
館▼聖書講座シリーズ5月～10月
◆典礼委員会▼教会の祈りと聖体
贊美式 第一日曜日17時半河原町
教会、第三土曜日16時半衣笠カル
メル修道会

◆奈良カトリック協議会▼右近こ
どもまつり5月5日(日)▼ファ
ミリー・デー6月2日(日)▼ウォー
カソン9月23日(月)

◆京都南部カトリック協議会▼東
ブロック会議3月9日(土)、5
月11日(土)、7月13日(土)、9
月14日(土)、11月9日(土)

◆聖母学院短期大学▼卒業式3
月13日(水)

◆聖母女学院短期大学▼卒業式3
月13日(水)

◆海星中学・高等学校▼高校卒業
式3月1日▼中学修了式3月18日

◆暁星女子高等学校▼卒業式2月
28日(木)▼入学式4月9日(火)

◆創立記念日5月1日(水)

◆京都聖カタリナ女子高等学校▼
卒業証書授与式2月23日(土)

◆セントヨゼフ女子学園高等学校
中学校▼高校卒業式3月2日(土)

◆聖母学院中学・高等学校▼高校
卒業式2月15日

◆ノートルダム学院小学校▼ベルナデッタ
のお祝い2月18日(月)▼卒業式

3月16日(土)▼入学式4月10日
(水)▼運動会10月6日(日)▼

追悼式11月1日(金)

◆ノートルダム学院小学校▼卒業
式3月15日(金)▼入学式4月8
日(月)▼運動会5月18日(土)

◆聖家族幼稚園▼感謝祭2月5日
(火)

◆西陣教会▼信睦二金会7、8月
を除く毎月第二金曜日

◆滋賀地区湖西ブロック▼夏季学
校8月3日(土)～4日(日)▼

◆合同バザー10月27日(日)大津教
会・聖母幼稚園

◆修道会の行事

◆女子奉獻生活者の会▼年次総会
2月2日(土)

◆教育関係施設の行事

◆洛星中高等学校▼高校卒業式2
月7日(木)▼中学卒業式3月23
日(土)▼中学高校入学式4月8
日(月)▼創立記念日10月21日

◆聖母学院小学校▼ベルナデッタ
のお祝い2月18日(月)▼卒業式

3月16日(土)▼入学式4月10日
(水)▼運動会10月6日(日)▼

追悼式11月1日(金)

◆ノートルダム学院小学校▼卒業
式3月15日(金)▼入学式4月8
日(月)▼運動会5月18日(土)

◆聖家族幼稚園▼感謝祭2月5日
(火)

◆西陣教会▼信睦二金会7、8月
を除く毎月第二金曜日

◆聖母教育文化センター▼巡礼の
旅(大阪周辺のキリストンシリ

ズ第3回) 1月13日(日) ▼聖書講座 1月11日から毎週金曜日▼外國語会話入門(英語、中国語、仏語、伊語、韓国語) 1月開校予定
 ▼カルチャーラーニング講座(ノートパソコン、お花、カットアート、お琴、太鼓、刺繡) 1月開校▼中国上海旅行 3月3日～3月7日▼イタリア巡礼 8月20日～8月28日▼問い合わせ電話 075(643)2320

諸施設・諸活動の行事

◆JOC▼集会第二木曜日、第四土曜日19時30分～21時。京都働く人の家(九条教会前)
 ◆カトリックスカウト(CBS)▼定期総会1月27日(日)▼指導者研修会3月3日(日)▼第22回宗教トレーニングキャンプ3月22日(金)～24日(日)▼第23回支部カトリックスカウトの日9月15日(日)

◆カナの会▼結婚相談室・例会1月27日、3月3日、5月5日、6月2日、7月7日、9月1日、12月1日いずれも日曜日▼カナの会集い・例会10月6日(日)河原町会館

◆衣笠墓苑管理委員会▼合同清掃日10月20日(日)、予備日10月27日

◆京都カトリック混声合唱団▼練習日1月13日(日)通常練習後新館六階年総会、1月26日(土)河原町会

◆京都キリスト研究会▼総会1月27日▼定例会2月24日、3月24日、4月28日、6月23日、7月28日、9月22日、10月27日、11月24日、12月6日河原町教会▼懇親会12月8日

◆コロチエレステ▼新年総会1月17日▼練習始め1月24日(木)、2月以後は毎月第2、第4、第5木曜日河原町教会地下ホール

◆在世フランシスコ会▼京都兄弟会1月19日、2月16日、3月16日、4月20日、5月18日、6月15日、7月20日、9月14日、10月19日、11月16日、12月14日いずれも土曜日(日)

◆高田とみ子さん。昨年11月13日。マリア会高田裕和師の母上

◆聖ビンセンシオ・ア・パウロ会▼例会(河原町協議会)1月13日、2月10日、3月10日、4月14日、5月12日、6月9日、7月14日、8月4日、9月15日、10月13日、11月10日、12月8日河原町教会

お知らせ

日(日)▼合同墓参11月3日(日)日、6月23日、7月28日、8月25日26日、9月29日、10月27日、11月24日、12月22日河原町教会
 ◆糠みその会▼例会1月31日、2月28日、3月28日、4月25日、5月30日、6月27日、7月25日、8月29日、9月26日、10月31日、11月28日、12月12日いずれも木曜日

◆都の聖母奉賛ミサ5月12日14時将軍塚▼都の聖ラザロ顕彰ミサ10月6日河原町教会▼懇親会12月2日

◆ラジオ・マリエコミチウム1月8日

◆コロチエレステ▼新年総会1月17日▼練習始め1月24日(木)、2月以後は毎月第2、第4、第5木曜日河原町教会地下ホール

◆在世フランシスコ会▼京都兄弟会1月19日、2月16日、3月16日、4月20日、5月18日、6月15日、7月20日、9月14日、10月19日、11月16日、12月14日いずれも土曜日(日)

◆帰天

◆編集部からのお知らせ

お知らせに載せたい情報は、3月号でしたら1月14日までに、京都教区本部事務局「京都教区時報担当」宛に、送信者の電話番号とお名前を記入してFAXでお願いします。なお日付には確認のため曜日も記入いただくようお願いします。

青少年委員会担当司祭
(一月一日付)京都教区代表
青年センター福岡一穂
柳本昭
瀧野正三郎福岡一穂
柳本昭福岡一穂
柳本昭中学生
高校生中学生広島巡礼
アジア体験学習外崎豊
ロードム
柳本昭

WYD2002引率

K・タロク

(地区担当は四月一日付で任命)

柳本昭

柳本昭
一場修

柳本昭